



## 競輪補助事業完了のお知らせ

この度、平成28年度の競輪の補助を受けて、以下の事業を完了いたしました。  
本事業の実施により、沖縄県の男女ともに死亡者数の常に上位である肺がんの早期発見、  
また結核等、胸部疾患の早期発見を行い、地域住民の健やかな暮らしのために力を尽くして参ります。

記

事業名	平成28年度 検診車の整備 補助事業
事業の内容	胸部X線デジタル検診車の整備
補助金額	21,168,000円
実施場所	沖縄県北谷町字宮城1-584
完了年月日	平成29年3月14日



会長 中田 安彦

# 中部地区医師会ニュース

## 第39号

(平成29年4月10日発行)  
平成29年度第1号

一般社団法人 中部地区医師会

沖縄県北谷町字宮城1-584

会長 中田安彦 Ⅱ 936-8201

### 平成28年度公益財団法人JKA競輪補助事業(平成28年度検診車の整備補助事業)により胸部X線デジタル検診車導入する。

中部地区医師会では、1987年(S62)、財団法人日本自転車振興会(現 公益財団法人JKA)からの多額な補助により医師会館、成人病検診センターを設立し、その後も1991年(H3)の胃部・胸部併用検診車に始まり、計6台の検診車をJKAの行う競輪補助事業により整備を行って参りました。

今回の補助事業は、1999年(H11)に当時のコザ保健所(現 中部保健所)から貸し出され、その後、2009年(H21)に本会に譲渡された胸部X線検診車が製造から25年が経過しており、外装や内部装置(空調等)の老朽化に伴う損傷が著しく、また、アナログ撮影(レントゲンフィルムによる間接撮影)であるため、交換部品等の製造も廃止になっていることから、これに代わる新たな検診車の整備を行う必要性に迫られておりました。しかしながら購入には多額な費用を要し、これを自己財源だけで賄うことは難しいことから、公益財団法人JKAの行う平成28年度競輪補助事業により導入することが検討され、補助申請を行い事業を進めておりましたが、これが完了し、去る3月14日(火)に中部地区医師会検診センターにおいて、内覧会、引き渡し式が行われました。



#### 平成28年度 競輪補助事業

##### 【事業名】

平成28年度検診車の整備補助事業

##### 【事業の内容】

胸部X線デジタル検診車の整備

総事業費 42,336,000円

##### 【競輪補助金額】

21,168,000円

##### 【自己負担金額】

21,168,000円

##### 【実施場所】

沖縄県北谷町字宮城1-584

【完了年月日】平成29年3月14日



今回の胸部X線デジタル検診車の整備により、精度の向上は基より、業務の安定化、効率化が図られると共に、稼働回数は年間200回、1日平均100名、年間撮影件数は22,000件を予定しており、地域住民の肺がん等の胸部疾患の早期発見により健康保持・増進に大きく期待されます。

#### 平成28年度競輪補助事業 胸部X線デジタル検診車 3つの特徴

- ① **胸部X線骨組織透過ソリューション**(X線画像から肋骨、鎖骨等のごね組織を透過させ、肺組織の視認性を高める画像処理システム)
- ② **胸部X線経時差分ソリューション**(現在、過去に撮影された2枚の画像を重ね合わせ、経時差分処理により過去と現在の画像変化を確認できるシステム)
- ③ **検診時は蓄電池で稼働**(エンジン音による騒音、排気ガスは一切発生しません。)